大正二年二月十一日
第三種郵便物認可

第四三五號

大正二年六月十日 毎月曜日發行

Vol. VII. No. 435. THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

上海嵐山路OA八號
發行所 春申社
電話北二八五七
振替口座福岡四七〇五番

MOSES HIGHER COMMERCIAL SCHOOL

▲目次

□社論 王道と國際的猜忌 一
□祿々錄 日英同盟更新と支那 二
浙江同盟如何 三
經濟同盟論の反影 三
兩廣の形勢 四
□週間要報 七
□上海雜報界の過去及現在(三) 八
□典籍と自己と現代(七) 九
□力文化と吾人の大任(三) 十
□支那時事日誌 十一
□雜報(一)占元處分會議 十一
□漢字新聞論調 十一
□金融市況 十一
□公人私人 十一

王道と國際的猜忌

國際的猜忌は今日の如く大道世に行はれざるに於ては、到底息止すべからず、恰かも濱の眞砂に盡きるとも、世に盜人は盡きざらましと等し、國として地球上存在する以上、全然國際的猜忌を除去し得るとは思ふは大誤繆也、之と同じく天下道なき支那が國内的猜忌を以て互に爭執しつゝあることも、亦容易に除去すべからずと云はざるべからず、況んや支那は弱國にして列國環視の中に在り、其國際的猜忌心誠に旺盛なるに於ては、支那は國際的猜忌と國内的猜忌と兩々相俟つて、其止まる所を知らざるべく、支那前途の爲め、眞に憂慮に堪へざる所なり

然かり、支那の境遇日に非なるに當りて、湖北の兵變は已に二回なり、外人に損害を與へ、列國との交渉となり、外交團は將に裁兵の覺書を提議すべしと傳へ、外字紙は北京政府の裁兵は空談のみ、外人裁兵を監視して始めて效あり、支那紙が内政干渉に反對するも顧みるの要なしと云ふにあらざれば、別に現政府に代るべき良政府を作らざるべからずと云ひ、甚だしきは倒行逆施今日の北京政府の如き若し再び强大なる團結を以て推倒せざれば、改造の支那に人ありと云ふべからずと著論するに至れり、之と同時に現政府と兩立すべからざる民黨派は皆外人の言を以て現政府及軍閥を攻擊する事迫切なり

然れども吾人より見れば外人の所論は國際的猜忌より來たるものにして眞摯の言議にあらず、親米派及民黨の所論も亦國内的猜忌より來るものにして、固より眞摯の言議にあらず、即ち外人は日本の東亞に優越せる自然の勢力を忌み、之を阻止して以て支那を列國監政の下に置かんとし、親米派及民黨は日本が一黨一派に因れば之を可なれども、事實に於ては自然政府を援助することなるを忌み、政府を倒して自黨の天下とせんとし、共に床を同ふして夢を異にせり、只だ一致する所は床たるべき現政府の推倒に在るのみ、高橋藏相の所謂日支經濟同盟論に對し、親米機關紙新聞報が『支那に大借款は寺内時代の一億五千萬圓を段政府に貸與して國を亂せしと同じく、恃むべからざる現政府に金を與へて軍閥に分配せしめ内亂を釀さしむるのみ、新銀團が借款を制限するは意は支那の内亂を縮小するに在るに反し、日本は新銀團を破壞するも意とせず、我國に甘言を以てする、國民は之に致さるべからずと』云ひ中華子が『高橋の論は新銀團の怒を買ひ列國干政の期を促進することゝなる、我國民は國際的壓迫を受くる時轉じて日本を怨恨するに至らんと』云ひしが如き、前者は親米派の立場よりせるものにして贅言の要なきも、後者は統一派にして其命意は列國干政を暗に日本の態度により豫妨せんとするに在り、日本は後者の所論に對し、最も考慮せざるべからず、何となれば支那の上下は最後に至れば、親米派も決して眞の親米派にあらず、排日派も亦決して眞の排日派にあらず、歸す所東亞の大局に鑑み、自然の力に順應すべしと見るを得べければなり支那人は天に順ふて而して人に應ずる國民なり、支那人は飽迄支那人なり、親米排日親日親英策も、自から止むべく、又環りて國際的猜忌をも息むべし、支那の列國内的權威を活かし得べき資格を有すること是なり、列國共同干政を慫慂されざるべからず、支那保全の國是を心に根ざせし我王道は、自然に發露すべく、日本に此王道を體認して支那及列國に臨まば、國際的猜忌、之より助長せしむる支那の國内的猜忌、之よりする内爭も以夷攻夷の

週間要報

日英同盟更新と支那

▲頗る喧囂を極む▼

日英同盟更新に就き支那政府が支那保全の條項を加入せざる樣抗議を申込みしは昨年のことにして今年も亦再抗議せるが、本月十四日附の北京電報によれば支那政府は顧維鈞をして英首相の言質を取り掛れりと報せらる即ち曰く

駐英支那公使顧維鈞は北京攻府に對し英國首相に向つて二回日英同盟は支那に涉及するを得ざることを聲明せるが英國首相は書面を以て之に回答するを肯んぜず若し書面を用ゆれば勢ひ必ず日本と同樣の方式に出でざるべからざるを以て口頭を以て英國は務めて支那の主權に注意すとの一語を聲明せる旨電知したり然れども北京政府は尙ほ英國首相より一の回答文書を得んと努め居れり。

然るに先月以來政府以外の各方面の反對熱は直ちに英國に及び、排英熱を懸念し始めたるに似たり、即ち本月十三日附倫敦電の報道に曰く本下院に於てサー、ウオルター、デフリース（保守黨）は支那人が日英同盟反對の爲め支那に於ける英國輸入品にボイコットを爲さんとしつゝありとの報道の眞僞を確むべく極東に在る英國代表者に向つて訓令を爲すべしと提議したり

外務次官セシル、ハームウオースは答へて曰く帝國首相會議の討議を經たる上ならでは日英同盟更新に關して陳述を爲すことを得ず然れども言及されたる如き困難は起らざるべしと思惟せらるゝ

英本國留意は之によりて窺ふべきが、ソレ丈け支那各地の日英同盟反對熱は盛んとなり、前號にも紹介せし如く北京報界聯合會の運動あり、上海に於ては商報尤も反對熱を鼓吹し、米國機關紙新聞報も亦連日著論せるが、本月十一日に至り、上海の有力なる團體たる總商會の出頭を見て、一層注意せらるゝに至り、之が種々の說あり、總商會の態度は軈かて在支英米人の運動懸引に由るにあらざるかと揣摩せられたるがかゝる憶說は取るに足らずとして、責任ある上海英國總領事は東方通信社に向つて本月十四日大要左の如く語れり

新聞紙の報する所に據れば支那總商會は今回英國政府に日英同盟反對の電報を寄せたる由なるが斯の如きは何等該同盟に影響を及ぼさざるは論を俟たず但し支那總商會なるものが決して支那國民の代表者たるにも非ず從つて英國政府に對し私の苦情を訴ふるの資格なければなり、在支英國民は日英同盟の更新に贊成し居れり該同盟は多少の非難は免かれずとしても過去の事情に照らして極東平和維持の爲めには必須の利益たるは一般識者の認むる所にして反對者の所謂反對論は何か爲にせむとする忌むべき野心より發露せるは疑ひを容れず、然して該同盟の存在が他の利益に何等の害を與へざる限り他國が之に反對を唱ふるの理由あるを認めず要するに極東は申すに及ばず世界の平和に多大の貢獻ある一大權威ある日英同盟に對し中傷を加へんとするもののあらばそは大いに誤れりと云ふべし夫れに對し吾人は該同盟の神聖にして崇高なる使命が那邊に存するか、研究を勸告せむと欲するものなり該同盟が更新さるゝや否やの問題は近く開催さるゝ英帝國會議の決議に基くものにして未だ言明の限りに非ずと雖も余一個の意見としては必然繼續さるゝものと確信す云々

更らに上海團體の日英同盟反對電文及總商會の電文を紹介せば左の如し

▲各團體と各國議會

上海の山東絲業公會、山東公館、寧同鄉會、湖北同鄉會、裘業公所、皮商公會、江吳江同鄉會、湖北會館、漢口棉業公會、絲頭公會、煙業公會、廣肇公所の各商業團體は日英同盟繼續に反對し各團に左の如き電報を發せり

一、英國々會に對し　中國人民の貴國人士に對する感情は日英同盟以來漸く疎遠に趨むけり東方人士は日本の侵略政策を以て盟約を恃みとして起てりとなさざるは無し若し此間の同盟更に繼續さるれば中國人民の感情は必ず愈惡劣に趨むくべく恐らく僅に日中英國民間の友誼を損ずるのみならず亦必ず直接貴國の商業に影響すべしと望む貴國會は中國人民の感情を念じ速に法を設けて貴國政府をして其の盟約續訂の擧動を中止せしめられたし

二、米國國會に對し　本各團は深く日英同盟が行々續訂されんとするを恐れて至つて惶急す此盟約の內容は中國の安寧に大に妨害あり若し其の續訂に任せば如何なる形式に論無く必ず日本の對華侵畧行爲を助長し遠東の平和を擾亂すべく貴國は力を盡くして法を設け英國をして再び日本と同盟を續訂し以て日本の勢力を長せざらしめん事を祈る

三、加奈陀澳洲印度等の議會に對し日英同盟は遠東平和擾亂の最大動力として日本をして中國に對し着々侵侮するに恃むこと有つて恐るゝこと無からしむるものなり弊國人民は怨憤殊に深し大平洋の和平の爲めに計り商業の利益及び兩國の友誼の爲めに計りて此同盟は均しく極めて不利の事とす貴處か帝國議會に派遣せる代表に轉致して此同盟の繼續を力阻せしめられんことを祈る

四、伊佛兩國々會に對し　日英同盟は日本の東方に於ける特殊無上の地位を造成し門戶開放、機會の均等主義をして其効力を失はしむるものなり志通商脩好にある國家の貴國等の如きに取りて實に大損害あり若し再び其續訂に任せば必ず情勢をして愈險惡に趨むかしむべし力を竭し反抗し其續訂を阻せらんことを萬望す

▲總商會と顧維鈞

上海總商會は日英同盟繼續に關し駐英支那公使顧維鈞に左の如き電報を發せり

日英同盟の支那問題に牽涉する能はざることは屢々駐外公使が外交部の旨を承けて駐在國に向つて正式に聲明せり最近各方面の報告によれば此聲明は毫も容納の誠意無きが如し現在改訂期間愈迫り愈近づきたれば應に再び英國政府に向つて切實に聲明し告ぐるに此は國家の人格に關するものにして全國人民を視て第一重要問題となすべき事を以てせざるべからず若し果して容納されざれば此擧を以て國際聯盟の精神に違反するを以て世界に通牒して公判を請求すべし即ち國民方面も又永久繼續の行動あらんとす應に竭力主持し並びに此の電報を代つて有名なる新聞及び議院の要人に向つて廣く宣布せられんことを請ふ

▲上海各商團と各國

上海各商業團が各國商團體に日英同盟繼續反對の電報を發せる事は既報の如くなるが尙倫敦タイムス、マンチユスター、ガージニアン、デーリーヘラルドの各新聞に對しても左の如き電報を發せり

支那商界同人は貴報に注意を請ふ日英が若し同盟を續訂せば英支兩國に皆危險あり日本は支那歷史上の仇敵にして耽々逐々として日に支那土地の侵略を思ふ而して英國は時々彼に聯絡し支那は此に於て實に該懼す日本若し英國の助け爲ければ其の大國の地位を保つ能はず支那壓迫を繼續する能はずと之れ故に支那人民が日本の痛苦を受くるは英國應に間接に其の責任を負ふべし此の情形は貴國に於て實に莫大の危險あり英支兩國は素と友誼敦ふすと雖も支那は將來必ず日本に報ゆるを得べし貴國にも亦必ず報ゆる所あるべし

中華民國學生聯合會總會全國各界聯合會日英同盟繼續及び南洋英領學校註冊條例反對協議の爲め各團體及び支那新聞記者約四十人を十五日正午大東酒樓に招待して晝餐の上佛租界學生總會に移りて會議を開き學生總會理事喻育之は日英同盟繼續は決行されんとし我國の抗議は無効ならんとす然れども抗議の有効と無効とを論せず此の一擊千鈞の時に當り吾人は死を誓つて力爭せざべからず而も政府に對しては一事も望むべからざるを以て全權を社會上眞正民意代表の各團體に付せざるべからず又學校註冊問題は英國政府は近期を承諾したるも完全なる取消の目的は

石炭
製紙
電銅
硝子
電

鑛物話
分析
鑛山
調査

三菱公司
三菱鑛物分析所
上海廣東路九號

一九二〇二九六四〇三三五六

日清汽船株式會社

上海出帆

鳳陽丸
南陽丸
襄陽丸
岳陽丸
瑞陽丸
大福丸
大貞丸
大利丸
郵船棧橋ヨリ發
浦東棧橋ヨリ發
電話（輸出宿直 四七六 輸入庶務 一三四五 船客 三二五九）

上海支店
上海廣東路十四號及十六號
電話 浦東棧橋 四七四
監督 一八七四
漢口宜昌線　一ケ月六回
漢口湘潭線　一週二回
漢口常德線　一週二回
九江南昌線　一週三回

浙江問題如何

▲章炳麟憤▼
▲浙江不穩說▼

浙江段派唯一の恃みとすべき地盤にして、徐樹錚の如きは絶へず浙江と上海及福建を跨に域けて劃策しつゝありと傳らるゝが、嚮きには新選舉反對の通電を發し、過日は地方分權省憲法制定を主張する通電を發し世の注目を惹きしが、之に對し均しく段派督軍として今問免職せられた陳樹藩は盧に對し贊成電を發したり、此等の事は已に前號を以て紹介せしが、陳は再び本月十一日附を以て盧永祥に打電せる電を一般に再通電せり其内容は支那の大患は中央權限分配の不均にあらず少數野心家が中央擁護の虚名の下に天下の請議を却持し兼併するにありと前提し地方自治省憲法の時代なり、余の意見は各省區議會學會商會及種々の民意自治機關を召集し賢能を擧げ地方の基礎を作らざるべからず余は方さに兵符を解き鄉邦他粹の國民となる、公は鐘を鳴らして群聳を警め、余も亦鞭を取りて後勁となるべしと云ふに在り

然るに陳樹藩方面が如何になるか未だ到達せざるを以て安心すべからず外人は吾國の輿論を頗る重視するを以て各團體の發する電報も亦た廢紙と視ることなかるべしと云ひ夫より數人の演說あり電報費用として當日二百四十一元集まり英國首相、外相、上下兩議院倫敦の各新聞、駐英支那公使、駐支英國公使に對し日英同盟繼續及び南洋英領學校註冊條例二問題反對の電報を發することゝなり尚は當日は銀行公會、錢業公會、上海縣商會よりは代表を出席せしめざりし爲め不平を唱へたるものあり

は、陝西問題に讓るべく、浙江の態度を見るに、由來省憲法制定に執掌するが、省憲法委員會は十五日談話會を開き愈成立する迄に進み、浙江出身の氏黨領袖章炳麟の如きも起草委員に擧げられ、章は本月十一日附を盧永祥等及省憲法籌備處に自主勸告文を發したり即ち曰く浙江省の自治主は既に北廷をして氣を奪ひ亦浙江の度支に益あるべし余は本と極端に賛成す推だ自治の二字は名義精嚴にして遷就すべきにあらず前に盧公の四日の電報を見るに既に自治を以て名となし浙江人も自治の評議の結果を以て省憲を促成し兩方同調して其の誤り甚だ多し余は盧公は宜しく速に自主を宣布して浙江人は極端に自治を主張すべしと爲す精神既に互助すべく名義必ずしも苟同せざるも名實相符し牽制する所無し浙江人にありては既に回翔の地あり盧公にありても亦進取の心を促し計の此より善きは無し余は起草員に選はれ命を待ちて行かんとす若必ず强同せんと欲せば余は本と西南と眞正自治提唱の人なるも西南の士に見ゆる無し特に此に電達す云々

然るに浙江の自治は要するに盧永祥の爲め浙人が騙胡魔化されたりと看破せるや、自主勸告せし章炳麟は十五日附以を電を發するに主れり即ち曰く

浙人競はず盧永祥をして自治を冒稱せしめ又た進取の計畫無きを致せり是れ此を借つて永く浙江に據らんとするものなり省憲の製造に即ち是れ省證券を賣るものなり根本より取消さ人事を望む然らざれば余を除名されたし云々

之によりて浙江の省憲なる者が盧永祥の細工なることを知るに足るか、中央政府も浙江の事に就ては大

浙江段派の特殊性

盧氏の電報

章氏の電報

浙江の省憲

中央の方針

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

浙江の事

嚴重に防布し第四師中より一部を抽調して浙西及錢塘江方面に向はしめ以て浙江の門戸を固む

二、省内各地稅關に派員して收稅を嚴格にし以て軍費に不足なからしめ一方總商會と協商して現存二百萬元を不時の需要に充つ

三、省内治安維持の爲め警察廳に嚴令して極力之を努めしめ並に各區署に通令して汽車汽船等の到着したる際は詳密に査察して匪徒を防嚴す

四、省議會に省憲法の速行制定を催促し以て自治の基礎を確立す

五、第二次通電を發し更に省憲自治の眞意を撤底せしめ中央政府の誤解を除くべし

更らに浙江問題に關しては本月十七日附北京電報は左の如く報せり、南京某要人の電報に曰く浙江の事を疏通するゝ施すべき法なし其自ら起自ちら落つるに任かすを妥當とす、省憲法は督軍目ら唱へたるにより其の他の各督軍は未だ必ずしも苟目せず研究安福交通三系を一陽に集め議論龐雜し主張紛呶す恐らくは起草に及ばずして先づ内訌を生せん盧督軍は久しからずして自ら痛苦を感すべし中央命令すしら外省奉行せざるものあり一督の號召に過ぎず其の効力著龜を待たざるなり

▼熊希齡の來電に曰く盧永祥は自治を主張す湖南省は急進派なり實に歡迎影響の勢あり、研究者は三派に分れ第一は學理派にして西南聯省治に照らし形式已に成れり速かに浙江と聯絡せんことを主張し、第二は事實派にして湖南憲法は將に成立せんとす宜く各省の自然進行にまかすべしと主張し、第三は依違派にして尚は成是なし第二、第三兩派と聯絡せん事を請ふ然らざれば統一計畫は行ひ難しと

▼政府は其の方面の密告を得たり徐樹錚は再び上海に赴き上海より抗州に赴き王揖唐方樞は何れも杭州に在りて會集し連日密議し其種擧動のた張敬堯張樹元等亦拘して前往せり

經濟同盟論の反影

高橋藏相の日支經濟同盟論は當初多く論ずるものなかりしが、商報記中に於て日本變相せる侵略策とし書せしのみ、然るに京阪大新聞の論調傳はり、殊にロイテルが『藏相高橋子爵は國際通信代表者と會見の際最近同氏が日支經濟同盟の必要を提唱し借款團脫退を賭して迄で支那に財政援助を與ふる必要ありと論せりとの新聞紙の報道につき述べて曰く若し日本が借款團の團員たる他國の承認を得べき方法の下に支那を援助し得るならば之を行はざる可からず日本の對支政策及び支那の對日政策は東洋の經濟の發達を目的として彼我協調援助の原則を基礎とせざる可からず疑惑若くは不信を除去せん爲めには凡ゆる手段を盡し在支軍隊の撤退さへ之を斷行せざる可からずと

支那の財政的政治的狀態は目下頗る不安定にして適當なる抵當無くしては西洋諸國より援助を受け難き形勢に在り日本の特殊的地位は特別の行動を要す何となれば日本は支那の恢復に致命的利害を有すればなり

余の意見に據れば日本政府は支那の外國借款支拂に對して保障を爲さゆる可からず這は全く實行し得る事にして余は借款團たる他國の承諾し得る所となるを信ずるものなり』報ずるや、本月十七日の支那紙新聞報及中華新報は始めて著論したり、先づ新聞報は曰く

日本財政大臣高橋は日支經濟同盟を主張し其入手方法として、支那に巨欵を貸與するに在り、

日本郵船株式會社

本社　日本東京

所有汽船百餘隻●總數噸數五十萬噸

上海
歐洲行　二週一回
米國行　二週一回
香港行　一週一回
日本行　以上

其他日本各港漢洲印度朝鮮支那等諸航路有り

日本郵船會社
上海支店長
松平市三郎

北汽船會社代理
北鐵道

The Bank of Chosen.

鮮朝銀行

上海支店

資本金八千萬圓
拂込濟資本金五千萬圓
積立金八百五拾參萬圓

本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座
京城三三三番

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀寶貴其他一般銀行業務鮮滿潮漢鐵及亞港ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

上海南京路第七號

總支配人　美濃部俊吉
支配人　橋本萬之介

電話
中二三九五　支配人室
中二三六四　營業所
中二三六一　出張所
中六一九四　買辦室
中二九七七　買辦室

支店及出張所
朝鮮　釜山、元山、群山、木浦、清津、鎮南浦、平壤、仁川、平壤、鎮南浦
滿洲　天連、旅順、營口、遼陽、奉天、新市街、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯、長春、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸、青島、天津、濟南
露領　浦潮、斯德哥爾
米國　紐育
右ノ外倫敦、巴里其他內外幅輳ノ地爲替取引先有之候

（貨幣交換所）亞港　スパニコリスカ

其總額は四億萬圓にして、毎年八千萬を行政費に供し、且つ無條件を要明せり、此事は甚だ注意すべし、近年國人は日本の信欵に反するに當り、毎に權利を斷送すと云へり、日本は逐に計なる變して無條件なり云と爲す、表面より見れば昔に異なる點に似たり、然かり而して日本に貸りて設想せば果して何を樂みて之を爲すか、昔人の所謂幣重くして言甘き者、其之れが謂ひか日本の用意は姑らく論ぜず、事に就て事を云へば大借欵は支那に利なし、日本等内内閣時代曾つて一億五千萬の巨金を以て段派を援助せるが其結果は南北分裂を招き直安の戰爭となり支那をして兵禍日に深からしめ元氣を消磨せしめたり、今高橋は個人を助けすと云ふも事實上金は之を現政府に貸與すべく現政府又胡んぞ特に政府を助けて別に野心なからんむとするも其軍閥を畏懼することは世の共に見る所なり、一旦巨金を得ば必ず曹錕等名軍人の爲分割さるべく、結果は又安んぞ害なき得んや、新銀團が借欵を制限するは意支那の内爭を縮小するに在り、日本は其道に反して之を行ふ、且つ新銀團を破壞するも亦強まざる所なりと云ふ、人をして驚かしむ、此事國民の一致して反對するは言を待たず、惟だ政府は窮して聊んずるなきの時なり、一旦此甘言を聞かば先を爭ふて後るゝを恐る感を抱かん國民の密に注視すべき點なりと

尚ほ中華新報は曰く（前略）甚だしきは新銀團を脱離すと云ふに在り藏相の地位を以て此主張を爲す敢へて震駭せしもるに足る、況やロイテルの半官的の聲明に就て見れば即ち之は藏相個人の主張が殆ど日本政府の意見と成れる事なり此の言は世界をして譁然たらしむるものにあらざるか支那は當然之に對して承認する能はず即ち藏相の計畫は寺内内閣の經濟政策に一歩を抜ざたるを以て寺内内閣當時に於ては鐵、棉花羊毛其他の路礦等の各種を得んとするに過ぎずりし、若し藏相の言の如く日本政府は支那の一切外債の償還を擔保すると云ふは共して同盟の謂ひにあらず、即ち支那主人翁の謂なり而して一方に於て撤兵を主張し平和を表示して武力の侵略は更に大なるものあるべし、支那は久に日本の支配下に伏せしむべしとする藏相の心事は實に壯なりと云ふべし然れど日本の財政當局が既に斯る言を爲すに至ては對支大會議の結果を如ふるべく想ふに小橋公使の歸任後の行動は我國民たるもの、探究を要す支那の政治及び財政の悪劣なる事は誠に藏相の言の如くなり其れ故に日本財政家の大怒の始まりたる所以にして統一は曾早く新銀行團に冒昧の投資を皆んな脱離す、而して日本は又其の特別の地位を主張し且つ貴州軍侵入の慈れありなど報せられしが、如何なる底意か廣西省議會も亦自治主張の通電を八日附を以て發表せり即ち其の内容の略に曰く極端なる中文集權說は幾度誠みても其効果なく又世界の潮流にも順はず國家の統一を圖るには先づ各省本身の自治を求めざるべからずとなし七月一日開會し討論すべく

志す所のものを國人に告げん（一）省の地位及價値に根據し省法を制定し以つて民治の基礎を立つ（二）省の本能を發揚し各個の發達を求免行省を以て國家の中堅とす（三）自治を害せざるの限度内に於て統一を承認し以て自治を以つて統一の導源とし統一を以つて自治の歸宿とす、各省に對しては互助主義を採り各省實力協和を以つて國家を形成す

然るに本月十七日香港發の電報及び高州に關戰ありしは事實なり北州方面の戰甚だ烈しく靈山も亦戰事あり と傳ふ果して眞なる不明なり、終りに廣東胞同罷工に關して十五日の電報は左の如く報せり

近頃當地鐵道機械工場電燈會社等の職工同盟休業續發し當局は對廣西攻擊準備中の折柄特に不便を感じ陳炯明は關係勞働者に對し同盟罷工の禁壓の訓令を發せり去る十四、十五の兩日同盟罷業の爲め運轉中止中なりし廣九鐵道は當地英國總令事及び次長馬鄰翼は意見書を發したるが之に對し教議員は辯駁文を發し、又官私の學校の八校に加担するもの少かりず、交通部直轄鐵路郵便二校の學生等も亦政府の六月三日の運動に對する待遇の苛酷なるを憤慨し、本月十四日鐵路學校に集合し、政府に對應する方法を講じ八校と一致の行動を取るべく決議し同時に罷課を實行し、政府の反省を促がすことゝせるが、馬次長も形勢に鑒みる所ありしか馬叙倫教授を佛國病院に移し馬教授に對し隙る相濟まざることゝし、政府方面と教職員の和解成立に近つきしものゝ如く報せらる、即ち政府方面は馬次長より教職員に謝罪し未拂俸給を支出し、醫藥費を償還し、院令を以て衛兵を懲し、前内閣々議を以て定めたる三個條を實行し、教職員方面は辭職宣言書を取消し一同上課する和解方法を擬定するに至れりと報せり、果して完全に纏まるか未だ盡く信すべからざるなり

●陝西問題其後

▲依然不解決▼

陝西問題は直派の勢力範圍に定められたる爲め、武力を以ても陳樹藩の識を離しむる勢に在りとも迫まる所ありしが、同志たる浙江盧永祥四日附の通電が甚だしく中央を詰り且つ罵りたるものなりしかば、之によりて氣勢を張るが如き態度を取り、敢へて贊成電を發し、更らに十一日附を以て再び通電を發して盧に和する所あり、一方政府に對しては極力任を嘱すことを云ひ、一方部下の諸將には陳挽留を電請せしめ、否らずんば陝西の禍亂生ずる恐れありとデモンストレーションを爲し、本月十二日陳は中央に對する馮旅は關鄉市に至り人を派して迎へたり向きに請ひし六個條の方法を若し承諾を得ば妥當に交代せんと、之に對し靳は承諾すと返電し後任を俟つて夫々處理せん速かに入京あれと云へり、劉鎮一方には金を求めて解散を待つ兵あり一方には錢さへ見れば擅まんとする内閣あり、即ち時の計畫の如きものは勢ひ必ず方々に試みられ支那の紛糾は益擴大せらるゝならん、藏相の言は新銀行團は固より承認する筈なし若し英米が若日本の「特別地位」に贊同する能はざれば日本の活動によつて必ず列強の共同干渉を促成せしむるならん、蓋し日本の單獨行動を希望せなれば必ず共同して當る事となり支那の混亂を愈增長せしめ而して日本財政家の列強干渉の實現は愈速となるなり最後に高橋に一言せんに前日大阪毎日新聞に掲載されたるものは其の見解の及ぶ所尚評論の餘地あるに似たり若し其れ半官的聲明を以て其なりとせば所謂日本の平和提唱論なる者は支那を狙公と同一視するものなり此等の聲明は必ず支那人の反對を煽り延いては歐米人の猜疑を招き其結果は歐米人として傍觀の態度を變せしめて徒らに干渉に導かしめ日本の平和態度の改善を望む中國一部分人士をして失望せしめ我一般國民をして將來國際壓迫を受くる時轉じて日本を恨まむるのみ

●兩廣の形勢

兩廣の形勢は本月九日頃は廣東に於て主戰戰論盛んなれども、陳炯明は未だ討伐令を下さずと報じ、更らに新聞記者及軍用飛航機台爆彈若干傳單等を里盤及車に積込み三水、肇慶方面に向ふことなり、或は李烈鈞は雲南を出發し廣東に向へり或は陳炳焜は梧州に在る部下軍隊一部を柳州に移したり傳へ、又江西陳光遠は許崇智の廣東は江西邊境を侵犯し故に防備を最にすべく兵隊を邊境に送りと電告せりと報じたり、然れども其後確たる報道一もなく戰時は開かるべき模樣なし、孫文等に至りては沓として音なく、施設には凡て金激社會主義者の煽動に依るものなりと傳ふる者あり

●教育風潮其後

教育風潮は實に不體面極まれるものなることは今更ら說く迄もなきが六月三日の新華門騷動より以來教育風潮は直派の勢力範圍に定められたる爲め、武力を以ても陳樹藩の識を離しむる勢に在りとも迫まる所ありしが、同志たる浙江盧永祥四日附の通電が甚だしく中央を詰り且つ罵りたるものなりしかば、之によりて氣勢を張るが如き態度を取り、敢へて贊成電を發し、更らに十一日附を以て再び通電を發して盧に和する所あり、一方政府に對しては極力任を嘱すことを云ひ、一方部下の諸將には陳挽留を電請せしめ、否らずんば陝西の禍亂生ずる恐れありとデモンストレーションを爲し、本月十二日陳は中央に對する馮旅は關鄉市に至り人を派して迎へたり向きに請ひし六個條の方法を若し承諾を得ば

●征蒙依然振はず

▲張經略俠就任せざるか▼

蒙古問題に然き每日北京電報を以

扱取品
棉花
綿糸
綿布
生糸

本店　大阪
支店　東京、横濱、神戸、天津、青島、漢口、大連、香港、武賀、甲谷陀、紐育、オースチン、フォートウオース、ヤトシル

江商株式會社上海支店

上海北川路五十五號

電話 配達 支 二二人 〇一二
計會 受 九二九 九二九
帳房 波 二二四 三九二

上海廣東路九號

株式會社 三菱銀行

資本金五千萬圓
拂込濟參千萬圓

電話
支配人席 中二九六四
營業室 中三二六四
辦事部 中三二三八

本店 東京 丸之内 深川 日本橋
支店 大阪 中ノ島船場 神戸 京都 名古屋 倫敦 紐育

て報せられ、或は征蒙の部署定まれりと云ひ、或は露蒙匪の侵入の恐れあり出發費政軍器彈藥を送設すべしとの要求ありと云ひ、或は姜桂題は河南の兵を熱河に送りて防禦に備ふることを要求せりと云ひ、或は張作霖は平和的手段を取るとなれりと云ひ、或は張作霖は軍費を要求し黑龍江吉林尙ほ不穩にして充分兵を外蒙古に廻はすべからずと打電せりと云ひ、或は奉天會議は日露兩國代表と協商し、各防禦地を守り侵犯すべからざることを定むべしと云ひ、諸電報一も信ずるに足らざるが、元來外蒙古征伐は世に定評あり不可能とせらるゝに就き、張作霖は妥協策を本とし、決して出兵するにあらずと解せらる、何となれば張は先月の入京前外蒙古活佛の代表牛福厚が奉天に密かに來り張に面會して外蒙自治と支蒙の和睦幹旋方要求せしことあり、張は之を快諾して入京し種々の問題を討論し其結果蒙疆經略使に任ぜらるゝや、茲に又活佛牛福厚の和睦運動を開始し、特に和睦に關する呈文を公然與ふることゝなりたり、之によりて張作霖は平和手段を以て外蒙古問題を敷衍せんとする考へありと看取せしめたるが、本日十六日の北京電報は張作霖は最近熱、察、綏三都統及新疆黑龍江吉林の各督軍に報告を爲し、余は未だ蒙疆經略使に就職する旨宣言し居らざるに依り蒙邊の軍事に關しては直接中央と協議せられ度しと云へりと傳へ靳雲鵬は十五日附を以て電報を發し速かに就職せられ度しと乞ふ所ありたりと報せりさしも征蒙部署定まれりと誇張されし對蒙策は依然不振なるを證して餘りあり、中央も中央なり張作霖も張なり、歸する所征蒙の不可能なるは始より明白なれば從來の電報其他も亦敷衍策なりし如く、今後も敷衍策より外なかるべく、支那の事は凡て此くの如し、復又た彼此云爲するの要なし、一說には張の經略使に就かざるは張動を副せざるが爲めなりとの要なし、一說には姜桂題が節制を肯んぜざるが爲めなりと云ふ

●湖北善後問題

宜昌武昌の兵變に就ては既報の如くなるが、其善後策としては總統府に於ては先づ十一日附を以て左の如き命令を發したり

王占元の電稱によれば本月四日第二十一混城旅部下一團の軍隊は匪徒の爲め煽惑され宜昌城內に放火發砲し商戶を掠奪し該管旅長は隊を率ゐて馳剿し時を越へて散せりと又の電報によれば本月八日省城の少數隊伍は放火搶刼し城內の商店は頗る損失を受け官錢局造幣廠等を焚失したるも、已に力を盡して彈壓したれば何れも寧散せりと湖北省が旬日の間に二度兵刼を見商民の損失重きは深く憫むに堪へたり該督軍より同省長と會同し明確に查明し被害民を撫恤し失ふ所に任かする勿れ、今回の兵變の管師旅長等が事前に發覺せず發して制止する能はず省城を擾がさしめたるは尋常の疏忽にあらず、該督軍は部下の各犯を嚴重に緝し法に依り懲治し各路軍隊をして堵截し軍紀を肅する樣にすべし、該督軍は身軀更たり、旁貸なく認眞處理する所あれ之と同時に陸軍次長金紹曾に待從武官を隨行させ、慰問し且つ兵變の調查方を命じ、金一行は王占元より勸迎を受け、十四日金は復命の爲め北歸し、其結果十五日の國務會議は宜昌武昌の駐屯軍を解散し或は他に移さんことを協議せしものの如く、王占元の位置は斷じて動かさざるに決せりと報ぜらる、而して湖北自體は王占元は劉省長と共に本月十三日午後軍政商各界及び細民代表六十人を督軍署に召集し金陸軍次長等も列席兵災善後會議を開き第二師の變亂に對し謝罪の意を表し一切の善後事宜結了の上は責を負ふて辭職する旨を聲明せる後劉省長主席となり會議の結果一、武昌善後籌備處を設け各界代表二十名を幹事と爲すこと二、王督軍より二十萬吊、四局理徐榮廷より十萬吊を義捐せるを以て江西、安徽、江蘇より米穀を買入れ廉賣を初むる事を決定せるが本十四日午後二時武昌總商會に事務所を設け財政廳長魏聯芳を所長に命ぜり尙王督軍は宜昌救濟費中二十萬吊を義捐せりと報じ、又變亂兵の處分に關しては、武昌兵亂後の變亂兵の處分は既電の如く決定せるも實行する能はず更に十三日二十一混成旅第一團を嘉魚縣に第二師第五團の一營は蒲圻縣に第八團の一營は仙桃沈に移し殘留する兵變に關係ある部隊は數日內に全部隨縣崇陽陸安縣方面に送り兵變に關係なき第二師の部隊は其儘之を保存する事に決定せり、と傳へたり

然れども直派の御用を努めつつありと解せらる、湖北同鄉會は十一日十二人を代表に推し兵變の事の爲め國務院に赴き秘書に面會し撫恤裁兵廢督王懲辦の四項を陳述し盛んに總統の王に對する緩慢なる處置に不滿足を抱きたり又宜昌同鄉會は（一）親日派の躍動となり一般支那人に對日感情極めて善良化し更に新內閣が親日を標榜して起つに及んで米國は自派葉恭綽一派の沒落を機として試に密々對抗運動を開始し之が第一手段として學生團を操縱し各界聯合界に手を伸ばして絕對秘密裏に排日團の組織を見るに到れるものなるが已に天津、上海、漢口、四川、湖南、廣東等の各團體に通電して來る十六日を以て各界一齊に排日運動を開始するの段取りにあるものなりといふ

由來各界聯合會並に學生聯合會は一拂込濟資本金六千萬圓一法定準備並ニ別段積立金武千七百萬圓

●排日運動再起歟

▲米國公使館員操縱▼

▲歐米同學會を看板とし▼

大規模なる排日運動は最近稍跡を絕ち杭州重慶等に學生團を中心とせる排貨運動の時々勃發を見たるのみなるが、其中更に北京上海等に於ては殆んど其聲を聽かざるに到りたるが確聞する所に據れば再び米國系學生を中心として各界聯合會を打つて一丸とし大々的排日運動を開始すべく已に各省團體に打電し密々準備中にありと傳へらる、這は米國公使館員某の主として操縱する所に依て近來日本の對支政策更改の說流傳さるゝも供に一部の判決を俟つ可し而已ならず國人は一致して日本の侵略的外交に對抗すべきなり

福州問題　厦門に於ける日本の警察權執行は明に支那の主權を侵し列國の公約に反するものなり這は獨立國の一人として吾人の默視する所に非ざるなり

琿春問題　日本が擅に國境を侵して國際公法を破り名を日僑保護に籍りて大兵を駐屯せしめ最近之に代るに日警を以てせりと而も秘密裡に武裝警官を增派して主權を侵害す吾人は之等日官憲の絕對的撤退を要求す

大意右の如くにして要するに日本は支那の獨立せる主權を侵し最近更に外交替議の結果積極的侵略主義を執るに決せりと曲解せるものにて來る十六日所謂歐米同學會の名を以て排日運動を勃發せしめ延いて排貨に到らしむ可き筋書にて全然米國側の操縱に系るは前記の如くなり

資本金壹億圓

上海福州路一號

株式會社三井銀行

電話　支店長一三八六　營業所一二八六　同買辦一二九七　同一二〇八

本店　東京

支店（東京深川、東京箱崎、小樽、横濱、大阪西、大阪川口、大阪中島、京都、神戸、廣島、下關、門司、若松、長崎、名古屋、

資本金七千萬圓（內拂込四千萬圓）

諸積立金一千八百萬圓

本店　大阪

支店　東京、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戸、兵庫、尾道、新居濱、吳、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布哇、桑港、孟買、漢口、シアトル、紐育、倫敦、

株式會社住友銀行

上海九江路十號

電話（支店八約）（營業用）（同上）（買辦用）（表掛番）

上海報界の過去及現在（三三）

山東問題の排日原因

▼排日問題は要するに支那の悲境から來るものであることゝ云へるが、其水源は何んと云つても西力東漸に在る、即ち日本は西力東漸により圧迫を受ければ自己の政爭から喰物にされて大きくなつたものである、米國を恃み、親米研究系を使ひ、外交問題で段派を抑へる筈であつたがソレ乃、巴里會議で甘く行かないから、直派の錢内閣が動搖した、段派を再び抬頭せしむる形勢が來た乃で、一層山東問題は其喰留策として激しくなつたのである、當時和平會議が頓挫したのは、段系の錚々たる呉鼎昌の外交失敗を藉りて強く出たこと及徐世昌と脉絡ある、唐紹儀が五月十日の會合席上八個條を提案し、好個の潮時として辭職したことで此二點から明かなる、當時學界に勢力を有し、學界を操縦することに於て最も巧みなる研究系と段派に附隨して最も用ゐられた曹章陸等の新交通系との私仇、新交通の勢力に對する舊交通系の私仇が亦大に與かつて力あつた、即ち林公使が餘り曹陸章を相手にして、林長民汪大燮の如き日本と關係あるものを疎んじた點が私仇を醸成する原因であつた

▼ソレから曹陸章等が學生から北京で打たれ、賣國賊の名が全國を風靡するに至つたが、之で孫文黨親日派民黨の立派も困つて來た、乃で在上海の張繼、戴天仇、何天炯など學生風潮に乘じ、所謂狐理はず、五月八日日本人に告ぐと云ふ文章を公表して盛んに排日を鼓吹し、日本を侵略國として叫び、自己の賣國奴と叫はるゝのを機先を制して妨げたことがあるが、之より排日の風は何の系統を問はず、排日を云はねば人間でない程になつた、之と同時に攪亂策には山東問題に限ると云ふことになつた、直派の長江督軍も天津の馮國璋も共に段派を倒すのは此山東問題だと腹を決むるに至り、學生を運動せしむる費用は、ドシ〳〵彼等の懐裡より支出さるゝ樣になつた、而して露西亞の過激派思想が大に宣傳さるゝ樣になつた

▼時事新報の如き研究系は此宣傳と排貨に努力したが、五月十七日及十九日の同紙は南北政府は木乃伊政府なり、青年政府を樹立すべし、現在の勞働者は驚醒せり、雪片紛飛さるゝ傳單即ち散らしは勞働者の血から釀出された金から出來たものである、學生と勞働者は一致して起たねばならぬと煽つたものである、コー云ふ風であつたから、上海は全排日の空氣になり了り、上海漢字新聞は五月十四日より日本商店の廣告を登載せず、同時に船舶發著時間爲替商況等をも登載せない樣になつた、而して之れ迄日本人の名義を以て經營して居た大半の新聞は、皆伊英等人の名義に換へらるゝ樣になつた、而して排貨運動は盛んに行はれ、各種の團體の名を以て通電なり、通告文なりが配布され檄に乘じて國貨勸誘利權回收の聲が大きくなつて、英米烟草公司は南洋兄弟煙草公司は台灣人なれ日本籍なりと云ひ出し、茲に雙方の悶着を來し、進んで感浴朝の如き衰時代に於ける排日風商人は自己の總商會長になれないのを遺恨とせる時なれば、大に總商會の排日に對する緩漫を詰る樣になつたから、會長朱葆三及副會長沈聯芳は辭職する樣になつた、有力なる總商會は大に排日貨を不賛成で緩和に力にめたけれども、四邊の空氣は奈何ともすべからず、之で排日貨は自由に學生の權に歸し、民黨の思ふ存分になる樣になつた、又此時段祺瑞は公然各省に通電して、巴里媾和條約に調印せざるべからざる理由を說ひたからして、五月二十七日の閣議は愈調印に決定せりと迄傳へられた、けれども事實はソーでなかつた、又〻と前後して二十四五日頃對支新借團の成立は日本と刻强の間に協調進行し、大綱丈けは決定を見るに至つたが、五月二十七日デーリーニュースは支那を是非とも國際化せねばならぬと、財政管理論を鼓吹した、鐵道管理論に至りては、交通部は陸徵祥よりの報告を得たりとして、五月十日附を以て陸委員に大反對の旨を返電したから一段落を告げた

▼排日排貨熱減しくなつてから徐世昌は六月一日に至り緩漫なから、學生取締の命令を出した、所が四日の騷動以來一ヶ月も纏續して騷いだ學生は、遂命と云つて六月四日露天演説を開始し、大行列を企ひ、各地に及び、遂に上海商民の罷市を實行せしめ、學生は全く勞其會と異ならざる暴に舉出づるに至つた

▼要するに山東問題を以て排日排貨熱となりしことを茲に改めて個條書きとして示せば

一、學生は日支交渉以來四年間日本を侵略國視せしむべく教科書を以て敎込まれしこと

二、北京大學内の新舊新思想衝突、即ち排日と内訌は影の形に從ふが如きことを知らず、一黨一派に因はれ氣焰り政客に乘ぜられしこと

三、排日は西力東漸以來習慣性を爲せしこと

四、研究系は舊學を知り、新學をかぢり、民情を知り筆致的煽動力に巧みなり、此系は新交通系を倒さずんば政權を得べからず過激派思想を鼓吹して學生を直接煽動せしこと

五、舊交通系は新交通系に財閥を奪はれ頭を同系を憎みしこと

六、政學會は徐世昌派にして段を倒さずんば政權に與かるべからざること

七、孫文派は徐派の勢力ありて以來政學會より切崩されたるを以て直迎せしこと

八、段派は學生騷動大となれば却りて自派の再出頭に便なりと速斷し之を坐觀せしこと

九、徐世昌は排日學生騷動の火元中の火元にして、段牽制策上外國殊に米國を利用し、日本を排し以て自派の地位を擁護すべく、唐紹儀等と脉絡を付けたること

一〇、長江督軍は段派力解決を焦るこなれば自己等の地位危く、勢ひ懷中より金を出して學生を煽動し、段を倒す機會此に在りと信ぜしこと

一一、和議は段派の勢力容易に進行せず、徐は此失敗を糊塗せざるべからざること

一二、歐米人道主義を特む念一般に厚かりしに巴里會議は顧ひの如くならず悲觀して習慣性たる日本に御鉢の回はりしこと

一三、英米人は排日を鼓吹して日本は歐洲戰爭中火事場泥棒を爲し二十一條を定め、參戰軍を編成し、獨逸に讓らざる軍國主義者であつて、世界の公敵なるものゝ如く吹應し、自らを利せんとせしこと

一四、日本軍閥の小刀細工を弄其父に謂つて曰く耕田利幾倍、曰く十倍、珠玉の贏幾倍曰く無數國家の主を立つこと及日本外交が二重外交の弊に陷りたること

一五、日本が支那の排日運動は支那朝野上下の内訌の蔭影なること、即ち排日と内訌は影の形に從ふが如きことを知らず、一黨一派に因はれ氣焰り政客に乘ぜられしこと

典籍と自己と現代（七一）

人弘道

▼子曰道、人を弘むるに非ず、人、道を弘むゝ、是れ道は天地の間に存在して居るけれども、人類をして云ふ時は、其道は人が弘めなければ弘まるものでない、即ち活きた人に就いて始めて道が活きて來るこの謂ひである、換言せば道は常に生命を有して流動すゝこふことである

▼然るに支那人が永遠より永遠に流動すべき文明を持ち、其文明の精神たる道を重んずるのは、誠に幸福であるが、人を過重する結果、自然道を棚に置き、人本位となる の弊に陷つてる、道を侍むの厚きこゝが、事實に於て人を侍むの厚きこゝになり終つて居るのは遺憾である、此弊は農民階級よりも知識階級に尤も甚だしくなつて居るソレは政治上或は治者となり、或は治者と被治者間のブローカとなるものが支那の所謂士階級即ち知識階級となつて居るからである

▼人本位の長處は賢人政治となるけれども、其短處依賴心に厚きこゝ、勢力ある人の風氣を攝摩する結果、凡らゆる惡德生ずること、法こか組織こかに冷淡であること地方的及宗族觀念から朋友姻戚編成し、獨逸に讓らざる軍國主義者であつて、世界の公敵なるものゝ如く吹應し、自らを利せんとせしこと

▼人本位の長處は賢人政治となるけれども、其短處依賴心に厚きこゝ、勢力ある人の風氣を攝摩する結果、凡らゆる惡德生ずること、法こか組織こかに冷淡であること地方的及宗族觀念から朋友姻戚編成し、獨逸に讓らざる軍國主義者であつて、世界の公敵なるものゝ如く吹應し、自らを利せんとせしこと

▼支那の大弊は何んと云つても、人本位の點に在るから人、道を弘むべき其人を得ない間は、人本位の弊を持續せねばならぬ、即ち今日の支那が亂れ〳〵て奈何ともすべからざる境涯に立つて居るのは、道を弘むる丈けの人がないからである、然らば又環りて人本位となる譯で、人本位の弊は到底救濟すこゝが出來ない、又唯だ氣運を待つ外はないこふはねばならぬ、さりとて道がない譯ではない、要は道を認得するものが出るこゝ否こに在る、此に於て吾人は仁義に由りて行ふ日本の政治家が出ないこと間は、日支の親善も亦不可能だこゝ歸結せねばならぬ、是れ日本の宜しく考ふべき大要點であろう

本通信は支那言論界の中心たる上海日刊漢字紙の記事を選

上海市内銀三弗

營業種目

■型銅　■銅及其鑄板、管、棒、線　■鋼鐵管、釘、鋲及鐵線　■各種被覆絶縁電線、電纜　■鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械　■鑛山用各種機械器具　■人造肥料並硫酸、硝酸　■石炭

住友洋行

上海九江路五號

電話　支配人室　庶務係　中四六一九　營業室　中四六二一　夜間用　中三五三六

上海西文華路憲角路

品質精撰

●醫療用藥品　●醫療用器械　●醫療用繃帶材料　●諸大家賣藥各種　●理化學用藥品　●工業用藥品　●玻璃藥瓶各種　●諸大家賣藥各種　●美容化粧品各種

廉價販賣

大生濟　御醫處方調劑大藥房

電二話六一五番

北

東方文化と吾人の大任（三）

陳嘉異

著作権保護コンテンツ

▲資本金　壹千萬圓
▲本店　北京
▲上海支店　江西路南京路北入

爲替取組先
東京、大阪、横濱、神戸、門司、長崎、京城、奉天、大連、北京、天津、青島、漢口、九江、福州、門厦、香港、新嘉坡、孟買、倫敦、紐育、其他支那各地

中華滙業銀行

電話番號（支配人席 中一九四六　一般營業部 中一九四一）

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉强可仕候付御引立の程奉願上候

合名會社
鈴木商店上海支店
九江路三號
電話　中二三二　中二三三　中二三三　番三三三　番六七八
本店　神戸市東川崎町一丁目一番地

印刷、製本及紙器製造
（オフセット）……カレンダー・ポスター・株券・小切手
（石版）……レヴテル・帶紙・商品券・カタログ
（活版）……諸會社用書類・レターペーパー・名刺
（紙器）……煙草函・各種サヴク・ショーカード
（ジンク版）（凸版）（凹版）（網版彫刻）
Shanghai Press, Ltd.
上海印刷株式會社
赫司克而路三十三號
電話北　二一九六　二一五〇

機械、材料、文房具販賣

營業種目
堀井謄寫版、文具、印刷機械、印刷インキ、自轉車、護謨及製品、車輛、金庫、紙、藥品、穀雜、肥料、鑛石

TH
堀井謄寫堂支店
上海河南路七七、七八
電話（中央）參參貳〇
本店　東京
支店　漢口、天津、京城

雜報

●王占元處分會議

▲其私產を沒收し賠償に充てよ▼

在上海湖北公民自治會及民間鄉各團體は武昌宜昌の兵變に關し本月十三日時會議を開き左の數件を決議したり

一、王占元は在任數年毫も學識無し且善政無く早く人心を失ひ所部の軍隊既に統馭維持の力無きを致せり中央に立ろに罷免せんことを公請す

二、王占元及び肇亂軍官の徵辨は中央は命令して唯だの處分に就きて一字も提せず殊に王は湖北主將にして全省の安危に擊がるを知らざるものなりと應に肇亂軍官と同一

三、湖北官錢局は全省の金融を操つり公私存欵紙幣債票數千萬金を下らざるに今や之を一炬に付し武漢の市面をして頓に恐慌を起さしめたと應に王占元に清釐賠償の完全責任を負はしむべし

四、此次の兵變は王占元所部の兵に係り自ら應に王占元より責を負ふべく其の利產を悉く沒收し中外商人の損失暗償となすべし

五、廢督裁兵は督軍に民國の不祥名言なり擁兵殃民爭權奪利の外百害あつて一利無し根本の補救は存在する能はずと認む此の時機に乘じて王を撤して督軍を廢すべし

六、代表を北京に派遣し京津の同鄉人と聯絡し一致して總統府國務院に請願し並びに全國同胞に助力を與へん事を求め以上の目的を達せざれば止まざるべし

尙一切の善後問題及び被難商民救濟等の事は近日中更に實施方法を集議することに決せり

●上海造幣廠英公使

英公使は財政部に公文を送れり其の內容は上海中央造幣廠投標說明書に列記せる各機械は全部米國式に係る、英國製造家は當標の希望なく且つ期促せり、五個月延期を乞ふ、同時に上海に中央造幣廠を設立する議は英國在支各地商業會議所の力に係る英人に與ふるに投標の機會を以つてすべしと財政部は機械講入廠長は選擇の權あり請ふ所通りにするに便ならずと回答せり、十五日英公使四時外交部を訪ひ此の事を議せり

●在上海浙江人と省憲法

浙江省の省憲法制定に就き在上海浙江省人童正燦等二百三十二人は過日浙江省憲期成會に對し今ま西南各省は聯省自治を主張し居るを以て我浙江人は速かに完全なる省憲を制定し一省の基礎を立てざるべからざること省憲法は一省八民公認の法律にして成立の上は全省人民均しく遵守せざるべからず省政府も亦た省憲法により發生するものなるを以て多數人民の意見を拜納せざるべからざること省憲法成立以前に選擧を停止し省憲を促成せしむべく憲法中最重要の問題は人民は男女を分たず普選を實行し以て平民政治の目的を達するにあること少憲法は少數人にて解決する能はざる時は國民大會を開きて之を解決し或は各縣より若干人を擧げて憲法を起草せしむべきこと憲法制定の時知事を民選とし民選後省議會を通過し省政府より任命することを加入すべきことを主張する意見書を送れり

●信託公司の調査

數月以來上海に於て信託公司の發起さるゝもの九個の多數に上りたるが其の名稱及び資本發起人は左の如し

一、中易信託公司資本八百元を發起人は寗波信託公司資本一千萬元

二、中國商業信託公司資本一千萬元發起人は染料商邱渭卿

三、中華信託公司發起人は姚菓蓮、顧馨一

四、大中華信託公司資本一千五百萬元盧小嘉

五、通易信託公司資本二百五十萬元發起人范季美

六、上海信託公司資本一千萬元發起人は樂振葆、王正廷

七、通商信託公司資本二百五十萬元發起人は劉家鼎、張文煥

此外の二個は未だ名稱決定せず各信託公司株目下の市價は中易が最も好く已に四十元に上りたるが六十元には騰貴する見込あり同公司は目下證券物品交易所と同公司株を同交易所市場にて賣買せんことを交涉し居れるか久しからずして事實となるべし次で好況なるは中國商業及び大中なるが其の他の二三の信託公司は株は發起人にて引受け濟みとなれるも資金不足のものあり又た一消息によれば各信託公司發起人は其の數なることは事業の前途に妨害あるべしとて合併して一大信託公司となすべきことを提議せんとする權樣ありとの說あり

●商會組織通告

全國各界聯合會は商團義勇隊組織に就き各省各地商會及び商幇に左の如き通電を發せり

本會は昨年十餘次の兵變ありたるに鑑み屢次電報を發して商團義勇隊の組織を提したるが最近宜昌先後して警を告げ生命財產の損失甚だ多く而して吾商界同胞の受禍を以て最も酷なりとす既に社會の元氣を傷ひ又た友邦の詰責を招けり王占元は萬死し以て其の辜蔽ふに足らざるなり蓋し兵士の給料は極めて微々たるものなるに差引たる上支拂ひを停滯せるを以て挺して險に走り急何ぞ能く擇ばん其の茫々として知識無く刃を公然侵蝕の元兇に加へすして殃ひて賦稅を輸納する良民に及ぼしたるを惜しむのみ彼の王氏なる者は數百萬の賣國錢を飽載して歸り災區に投機して地權を壟斷し兵士の衣體を蔽はす食錢を充さざるを坐視し稍や餘瀝を分つを肯んせず直ちに私人の位置動搖の虞れあるに至りて殘部を賄買し口を鎭定に藉る輿論の制裁に遭ふ者は兵士なり殺戮の處分を虛ひ無くして殃ひ又た

是れなり張作霖、曹錕は其の尤も著しきものなり火を積薪に置かば隨時以て爆發すべし商界の諸公は遂かに決心を具へ或は牢を羊亡ぶの後に補なひ或は尤を見見はるの時に顧みつつに商團を組織し自から衛圍を衛を以て嚴重に取締しるべしとの密電らんことを冀ふ一帯兩得想ふに必ら諸公は樂んで之を爲さん

●雜糧交易所の陳明

日本人が小麥の輸出を計り當地雜糧交易所は競ふて賣渡し弊害多大なりとて江蘇省議會の問題となり省長は上海縣知事に取調べを訓令し來りたるが同交易所は之に對する陳明書を縣知事を經て省長に送り小麥は全く新糧の種類に屬せり日本人の小麥買入れは南滿洲哈爾賓等日本人の勢力範圍の各地に於て行ふものにて上海とは關係無し雜糧、油餅等は概ね大連牛莊及び內地各省に產し運輸困難なる爲め定期豫約をなさゃる能はず他の商業の空賣買を同一に談るべからず小麥は本省の產額尤も少なし本交易所の賣買する目的は各處產地より上海に輸送して麵麥粉各廠の原料の用に供するが爲めなりといへり

●夜市交易所の發起

大發公司大世界は昨日株式總會を開き總理黃璉玖は大世界內に夜市物券交易所を組織し資本は一百萬元一株十元として先づ半數を以て營業を始め專ら證券棉糸麵粉等の夜市交易所を營むべし此の夜市交易所は米國濁乙等に於て大に發達せり株主全部之に贊成し次で株分配に就き黃は大發公司株主は二萬株を得其の餘は各業發起人及び各仲買人の共同投資とすべしいへるが株主徐賢昌等は二萬株にては少なきを以て賣を全體株主の代表として發起人に對し三萬七千株を得べく交渉せしむることゝせり又た大發公司株は一株百元なるが夜市交易所關係後は一株を十株とし一株十元の新式株と取換ゆるを得ることを議決せり

●孫逸仙とモスコー政府

上海軍警各機關は北京政府より孫逸仙はモスコー政府と相互協助を決定し一方政府より軍器を供給し並びに軍隊を以て募し一方は代つて過激派主義の傳播をなすことゝなり黑龍江地より軍器を滿載せる汽船二隻及び同地にて募集する支那兵二萬余を廣東に送らんとする旨の報告ありたるを以て嚴重に取締しるべしとの密電に接せり

●浙江歸者談

浙江よりの歸客は浙江の形勢に就き談りて曰く浙江人の自治の心は督軍盧永祥が廢督裁兵を發せる、先きに決し醞釀今に至れり先に省憲期成會組織され浙江の識者は先後して腐集し人民の心理は其の成功を樂しみたるが盧永祥は大勢を默觀し輿情を俯察し中央の統一期し難く民治の潮流日に激しきを知り毅然として四月より沈省長に辭職調刺するものあり又た沈省長驅逐を計畫し居るものありとさへ傳され沈省長が其の信地に安んぜざるは事實なり

●義勇隊組織督促

中華民國學生聯合會、各校學生聯合會、各新聞社に宛て王占元は湖北に佔據して以來私產三千萬金を積み軍費を中飽し數日內の宜昌、武昌に焚掠焚殺の慘劇を演出せしめ王は制止の力無くして軍艦楚材に身を隱し旋て軍隊一千二百余人を屠殺し商民より三十余萬金を勒索ゐ是れ軍隊と人民等と鷸蚌俱に斃れ王は坐して漁夫の利を收むるものなり然も武人勇各界は一致して王を聲討し商團義隊を組織せんことを望む民士は武昌の覆轍に鑒み憤懣不平なるも亦た軍閥に反抗し無辜の人民に害を及ぼさるべしとの通告を發せり

●米穀商鑑札問題

共同租界工部局が七月一日より各米穀商の鑑札章規を實行することなりたるに就き支那人等は大に反對し顧問人員に對し嚴重に反對せんことを求めゝあり更に大要左の如き書面を顧問委員に發したり

來書の趣きによれば工部局代理坐辦は米穀商鑑札實施の目的は價格釣上げの弊防にあらずして米穀買賣管理の爲なりと云へる由なるが鑑札章程八欵を見るに其の第六欵の密藏禁止が此の章程の主要目的なるが如し然るに工部局に於ては密藏利害の一件に就きて充分なる說明なきを以て此の章程の主要目的は喪失せり其の他の七欵は單獨有存在の餘地無し然るに工部局は忽ち其の論詞を變じ米穀買賣管理の爲めなりと云へる由なるが日用必須の品は頗る多し其の買賣を管理するとせば米穀の買賣のみを管理すべきにあらず此の點を以て工部局を辯論せられんことを希望す

●製糖公司の成立

馬玉山等は製糖公司設立を登記し五日の通電を發せり湖南陝西福建諸省よりは均しく替同の電知來りたるが神經過敏なる者は浙江省は已に中央と關係を脫離せりと云へるものありたるも盧督軍の兩電は條件の作用に過ぎず政府は之に對して數日を經るも返電を寄せざりしが聞く所によれば前日始めて國務院密書吳笈孫より措詞婉曲なる電報來りたりと省憲期成會は十四日文件を省憲籌備會に引渡し同會は十五日臨時會を開きたり督軍方面は最近數日間に確かに會議あり省防は平常よりも幾分嚴重なるが其の原因は一に湖北の兵變と一の謠言多きが爲めなり商會教育會等は各法團は均しく省の憲法自制を贊成し一方政府より軍器を供給し並び

命令

▼六月九日令
給二等大綬嘉禾章　阿威士
給一等大綬嘉禾章　甄文士
▼六月十一日令
湖北兵變に關する命令（週間要報參照）　潘復
任財政總長部務代理
▼六月十二令
授二等大綬嘉禾章　皇贊孫等
授二等大綬嘉禾章　水鈞韶
▼六月十三日令
授二等大綬嘉禾章
▼六月十四日令
任延吉鎭守使　張九卿

上海

▼上海各團體は日英同盟反對に就き各國に打電せり
▼章炳麟は十一日附を以て虛に自治獨立勸告を打電せり

六月十三日（月）

▼負傷教授馬叙倫は絕食中なりと
▼湖北合弁は英佛の帶兵赴湖北人を希望せり
▼張作霖の經略顧問使說出づ
▼蕪湖學生亂衣を持つて大行せりと
▼兩廣の戰雲急なりと報ぜらる
▼在上海湖北公民團は本日王占元處決問題を討議せり

六月十四日（火）

▼上海杭州の形勢益急なりとの說出づ
▼陳樹藩は代表を派して新任督軍を迎ゆとの說出づ
▼吉會鐵道借款は進行中なりと
▼上海總商會は顧維鈞に反對電を送れり
▼露榮軍猛威を振いて支那軍隊を憾ますとの報あり
▼本日馬教育次長は俸給未拂額交付を實行すと語る
▼清會新聞學生は北京學生に同情し十三日通電を發せり
▼本日の閣議は浙江自治に窮せりと

六月十五日（水）

▼閣相文は十三日調書室に入り即日潼關に向へりと
▼張作霖は征蒙延期に決せりと
▼張作霖は本日より日露兩國代表と防禦地侵犯せざる樣協議すと
▼十四日の閣議は王占元免議に決せり
▼在京湖北人王免議大不滿足十四日呈文を送れり
▼本日英民干餘人は振恤等七個條を議決し省議會に請願せり
▼本日浙江省憲法起草委員集まり成立日を十六日と定めたり
▼各團體は日英同盟反對及學校登錄反對を協議せり
▼章炳麟は本日浙江省憲起草委員を辭する電報を發せり
▼昨日より郵傳部學生も同盟罷課し教育食潮益沸騰す

六月十六日（木）

▼熊克武は本日武昌に再來王占元の招待を受く
▼齊燮元は新雲鵬擁護電を發せり
▼張作霖は經略使に未だ就任せざる旨宣言し靳は就任勸誘電を發せり
▼吉會借款は十七日調印さるべしと報ず
▼閣相文は保定に在り曹軍費を要求せり
▼本日教職員は新其他を相手取り控訴せり
▼本日浙江省憲公議を開き皆贊成せりと
▼教育部三個條の方法其他教職員勸慰文を公表せり教職員は依然入格問題に屈托す
▼江西河南三督軍は代表を王に派し兵變慰問を傳達せしめたり
▼米使クレーン本日歸國の途に就く
▼本日支獨協批準る
▼本日の閣議は湖北兵變後災民の爲財政內務より各十萬元支出を決す
▼浙江の鹽廢に就き政府困却すと云ふ

營業種目
葉煙草、洋紙、雜貨、其他一般輸出入業埃及メルコニアン煙草會社代理店
上海黃浦路三十一號
株式會社 伊藤商行
電話 北一五九〇 北二三〇九

諸藥品、織機絹綿布、雜貨輸出入貿易
上海河南路八號
株式會社 東亞公司
電話中央 一七三四 四一二六
本店 東京
支店 大阪

支店及ビ出張所
漢口、九江、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京、
資本金 貳千萬圓

○資本金 貳千萬圓
營業科目 棉花、綿絲、品綿製生絲
本社 大坂北區中之島 貳丁目十番地
日本棉花株式會社 上海支店
支店及出張所 大坂船場、名古屋、東京、橫濱、神戶、大連、營口、鐵嶺、開原、長春、哈爾濱、上海、漢口、津天青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貢、カラチ、紐育、堡部、シャトル、ブニノスアイレス、佛國アーブル

營業
課目 各種事業ノ調査設計及引受各種事業ニ對スル直接間接投資
東亞興業株式會社 上海出張所
上海九江路第五號
電話中一九九五番
本社 東京市麴町區八重洲一丁目一番地
出張所 北京、漢口、上海

資金を一千萬元とし先づ五百萬元拂込みにて開業する事となり株金は發起人にての引受け半數以上に達したるより昨日午後三時馬玉山公司にて發起人株主會議を開き馬玉山は工場を吳淞に設くること原料は廣東、福建、山東、浙江の四省より糖茶を取ることに決したること等を報告し馬玉山製糖公司にては名義狹さを以て華商製糖有限公司と改稱するに決し章程は更に楊小川、馬玉山等八人に審査したる上近日中創立會を開きて通過せしむることゝなり又た株の不足分は章程を發表したる上利權普及の爲め一般より募集することに決せり

●佛租界商業聯合會

佛租界商業聯合會は昨日午後六時通常會を開き山東問題に就き日本は種々の手段を以つて支那に直接交渉するやう誘ひ居るを以て國民は斷々乎として國際聯盟に付する事を主張せざるべからず又た日英同盟の繼續は我國の主權を侵すものなく速かに之を阻止せざれば支那は琉球、朝鮮の續こなること遠からずして團體を鞏固にすることを決議したり

●對外貿易維持會召集

上海支那人輸出業省等は支那物産の輸出凋落し商業不振の爲め農商部に維持方法を講せんことを呈請し農商部よりは實業專使張李二人を上海に派し輸出業者と振興策を協議したるが其の後今日に至るも切實なる方法講せられざりしが今回農商部は各地總商會外會の代表者を北京に招集し對外貿易維持會を開くことゝなり上海總商會は對外貿易に經驗ある者一二人を本月二十日以前北京に派し同會に列席せしめ又た絲繭總公所總理沈聯芳も亦た一二人を派遣する

●南洋煙公公の留米學生派遣

南洋兄弟煙草公司は本年米國留學生十五名を派遣することゝなりたるが留學經費は公司より三分二を負担し社長簡照南より三分の一を負担し人選試驗は上海香港の二ヶ處とし上海方面は十名と定め留學生は農工商の三科に限り歸國の上は服務に何等の制限無く當人の自由に任するものにて同公司は其の人選を江蘇省數育會に依頼し同教育會は幹事會臨時會を開きたる上委員會を組織し余日章を尙は足らずとするか機失ふべからず時再び來らざ特に忠告す希くば自省せよとの電報を發し又た省議會議長に對し速かに憲法起草員選擧を議事日程に入るべしと促したり

●安徽學生の血衣

安慶學生總聯合會交際主任王鏡は軍隊に歐打されて負傷せる學生姜高琦の血衣及び寫眞八枚を携へ華湖南京を經て昨朝當地に着し同夕靜安寺路廿二號にて聯席會議を開きて之を示したるが學生聯合會にも多數人に之を見せ安徽軍閥排斥の氣勢を煽る

●大來公司の碼頭增設

米國商大來公司は浦東自蓮涇口の黃浦江に大倉庫を有し居れる米國よりの入港船の同地にて貨物の積卸しをなすもの多く且米國松材の輸入多きを以て從來の四百五十呎の碼頭一個にては不便なるを以て更に其の東方に五百五十呎に碼頭を建築し居れるが本月末には落成する筈なり落成の上は汽船三隻を同時に繫留し得るといふ

●滬商棉糸交易所の組織

當地には物品交易所に棉糸を取扱ふ外棉糸交易所ありに今ま又た王揖九等は滬商棉糸交易所の組織を發起し日新里に籌備處を設けたるが、登記人、贊成人の外上海及び各地棉糸業者の株引受けを申込みたる者舊歷端午節迄六百余人に達したるが之等は全部棉糸商なるや否や不明なるより目下詳細に審査しつゝあり決定の上株の分配を行ひて創立會を開くべしと

●江蘇省憲促進電

上海地方自治研究會は江蘇省議會に對し省憲法の發浪全國に彌漫し我江蘇は他省の後塵を步すは已に甘んじて牛後と爲るを覺ゆ乃ち制憲の規程は議決多日なるに起草員未だ選出されずして現に開會の期を距る過日に過ぎざるに群情渴望の省憲起草員長に對し速かに憲法起草員選擧を議事日程に入るべしと促したり

●長距離電話の消息

上海南京杭州間長距離電話上海局は既に建築落成し電話線機械は已に据付けを終りたるが電話線は鐵道沿線に沿ひ電柱を樹つる筈なりしも斯くては耐久なる能はず且つ暴風により直ちに故障を生ずるを以てセメント管にて地下に埋沒することに決したり

●官吏阿片吸飲查辦提議

江蘇省議員黃次山等は同省議會に對し滬海道尹王賡廷、江都縣知事、王開長、東台縣知事、文林、贛榆縣知事王佐君等は阿片吸飲禁令に違反しつゝあり上官が斯る有樣なれば大級官吏及び一般人民の阿片を吸ふて憚からざるは當然なり彼等を法に依て査辦することを議決すべしと提議せり

●上海商品陳列所

上海總商會は會內の空地に九萬兩以上を投じて上海商品陳列所を新築し來る八月より愈々開所することゝなれるを以て其の時に國貨改良實業振興を計る爲め全國商品展覽會を開くに決し全省に對し七月三十一日迄出品物を送附するやう勸誘狀を發したり

●交易所取締り請願

上海工商協會は江蘇省議會に對し上海の各交易所は租界にあり外人の庇護を受くるを以て勝手の振舞ひをなし其の交易所に於て本所株を賣買し故意に價格の騰落を行ひ市面に亂を流し居るを以て速かに本所株の賣買禁止の法を講せられたし又た雜糧交易所は取引範圍以外の民食最重の

▼外使の警告（新聞報）（六、一八）　湖北兵變に對し外交團は警告す政府は何が故に王占元を法外に置くか政府は軍閥を恐るゝも王の如き惡惡者を免するも反抗すべからずヨシ妄爲に出でんとするも衆心之を許さず何を畏るゝや軍隊の變亂を以て外人の干政恥づべきに警告を以つて倘悟らざるか憤慨すべきなり

▼自起自落（申報）（同上）　政府は浙江潮に對して自起自落に任ずと云ふか此れ敷衍の語にして國家の大事に對しても亦自起自落に任かすなり然れども事は亦容易に自起して自落さるものあり如何

▼告自治派（民國日報）（同上）　自治熱心者は直に自治を信じてかるべし手を信ずべからざる武人に假るが如き自治は前次の覆轍を蹈むに而已

▼經略使如此（新申報）（同上）　張作霖が經略使に就かざるは姜桂題が節制を受けざる事及張勳を副經略使とせざる事の二因より起るなり

▼浙江制憲（申報新報）（同上）　浙江が公然省憲を運動するは大變動とすべし省軍各省議會を唱えて浙民省憲會議を開く、聯邦的にあらず他日國家統一のためとせば共に可なり、只だ注意すべきは第一、同時に國憲を制定するため各省議會を開くは一策なり省憲は將來の國憲に接續する樣にすべし第二、野心家の要用を注意すべし第三、本省の事は實利主義を取り裁兵を第一の目的とすべし然れ共浙江の事に尙疑問なり又安福派は自治を云ふも實は復仇主義より出づ湖北の兵變が安福系の使嗾によるに、あらずや北京園より腐敗せるも國民は安福派の行爲は事實によりて證明すべし

西湖雜寺

故西田鳴溪

美人墳墓忠臣廟。點綴西湖秀色多。更有蘇公堤畔柳。依依迎客映春波。
裏湖曲曲繞春灣。何處梅花隱士關。放鶴亭中鶴飛去。游人漫到弔孤山。

THE KAMIYA TRADING Co., Ltd.

KMY

上海泗涇路九號

神谷商事株式會社上海支店

電話中三八七五

本店　東京市日本橋區本石町三丁目

支店　大阪、神戶、名古屋、上海、漢口

營業種目　棉花、棉糸布、雜穀肥料、製油原料、砂糖、機械、雜貨、陶器

營業主目

一般電氣ニ關スル工事ノ設計及請負監督
一般電氣及工業ノ經營並ニ之ニ對スル資金ノ直接又ハ間接ノ供給及融通
一般工業用機械材料及原料ノ賣買並ニ仲介及代理
一土木建築ノ設計及請負監督
以上各號ニ附帶スル一切ノ業務
一般商品ノ賣買並ニ其仲介及代理

中國工商株式會社

（香港路A六號）

支配人室中　四七三〇
事務所中中　三六二〇
〃　宅北　二六八八
社　一八七六

高麗參丸（大物實）

▲朝鮮總督府賣買局所管▼

●人參の精粹、携帶に至便

●本劑は朝鮮人參エキスに其の粉末を混和調製せり

●其形細粒然も効力頗る强大

事務家、旅行者日常の携帶、使用に良し

大瓶百粒入（六日分）大洋七角
小瓶五十粒入（三日分）大洋四角

▼到る處の有名藥店に販賣す▲

C. ITOH & Co.

紅伊藤洋行

伊藤忠商事株式會社上海支店

上海漢口路五號

營業種目

●輸入　綿糸、綿布、雜貨、金油機械、染料

●輸出　綿花、雜穀、肥料、脂屬麻、絹綿麻布、五金

本店　大阪

支店　東京　神戶　横濱　京都　小樽　今治

漢口　天津　青島　香港　馬尼刺　倫敦　甲谷他　紐育　孟買　ヤシ　タバヲ　トル

海外支店及出張所

電話

營業部　三三九九
雜貨部　三三八九
計算部　三三四八
務部　三三七四
夜會席　一八七〇
宿直　一八九〇

小麥をも任意操縦し居るを以て取締り方を省長に呈請されたしと請願せり

●湖南動搖說

兩廣軍の開戰期迫るや湖南の趙恒惕は兩廣に近き一帶に軍隊を配置し以て他省軍隊の侵入に備ふると共に第一混成旅長の葉開鑫を推して或る種の計畫に出でしめんとしつゝありて而して趙は、廣西軍にして戰ひ利あらば可なるも、若し廣東軍の勝利となる事あらば、直に調停の策を講せんとするものゝ如し、之れ廣東軍の勝利が軈て孫文一派の勢力を增大する結果となり、湖南は益々不利の立場に陷るべしとの觀察を有する爲めなるが、さらでも李烈鈞の率ゐる雲南軍湖南西部に在り、臥榻鼾睡を許さぬ現狀にて、趙總司令昨今の焦慮は他の想像以上なるものあり、且つ長沙方面の駐屯軍は近來軍費の支給を受け居れるも、未だ支給不足の部隊あり、過般の宜昌武昌の兵變の影響を受けて動搖を來さんとせるが、兵士間に人望ある葉開鑫の調停を得て辛くも事なかりし程なりと、一方李烈鈞はその後の態度不明にて湖南を攻めんとすとの說あるに對し引返して廣西を衝くべしとの說あり未だ何れとも判明せずと、長沙歸客は語れり

●紗布交易所消息

紗業公會內に附設せる紗布交易所は本月十日頃より開業の筈なるも準備手間取り來週早々愛多亞路の新建に移り來月初めより開業すべしと同所株は已に八十餘元に騰貴したるが將來は同交易所にて賣買する外其の他の証券交易所主場には上さすといふ

●租界外道路掃除人の增給要求

租界外の道路掃除人夫は數百人あり一區に一人の割合を設けと雖も一人の頭目を設けと雖も人夫の一ヶ月の給料は五元五角にて毎月二回に分ちて支給し居れるが人夫等は五月給料は五元五角にては立ち行かずとて給料値上げを要求し容れられずんば同盟罷業をなさんとする模樣あるより官憲にては極力取締り居れり

●吳淞大工の罷業

十七日午前上海の支那人大工左官百余人は汽車にて吳淞に赴き同濟學校、華豐、大中華三ケ處の工事場に職人等に罷業を迫りたるより三ケ處の職人等は尙ほ仕事を爲せる爲め上海組は大に怒り衝突を始め大工左官道豆を取上げ罷業せしめたり之が爲め同地警察は請負人等と商議し若し職人等が仕事を始めざれば他の職人等を集め凡工事を繼續せしむことなれり

●閘北の電車增設

租界外支那電車公司は新閘橋北側より紬板廠を經て叉袋角に達する線及び滬寧鐵道北停車場の寶山路より江灣に至る電車を布設せんとて目下測量中なり

金融市況

●自十年六月十日至十年六月十六日　外國爲替　上海の金融及

●金融　外國銀行は何れも資金手許薄の如くなるも支那銀行は相變らず金壹當にして端午節も至つて平穩金融市場にも何等の影響を見ずして無事經過したり

本週中銀移動左の如し

輸入

十五萬弗	杭州より
五萬弗	漢口より
十萬弗	無錫より
十四萬弗	南京より
二十萬弗	天津より
十萬弗	浙江より
二十四萬兩	南京へ
百〇五萬兩	香港へ
四萬兩	蘇州へ

輸出

南京の兩銀の輸出ありたるは前週の通り造幣廠に於て弗銀貨鑄造の爲めにして之が弗銀貨となり當市場に還元せらるゝもの亦相當あるを見可し

●氣替　英米爲替相場未だ安定を見ず兎角下向の氣配を示せるが爲め大陸賣の些少なると相俟つて銀塊漸次擡頭十三日には三十五片四分の三迄上騰し加ふるに廣水商人が當市場に於て其包藏せる米弗金賣放を試みたるが爲め爲替氣配突如として著しき强氣配を呈し三志七片八分の一と云ふ近來稀有の高相場を出現したり然れども週末に及び獨逸政府の Bill 賣出し終熄したると英國炭礦大ストライキの形勢樂觀せらるゝが爲め英米爲替も漸次回復し銀も印度が需要額を充分包攬して今後買に出ざる可しとの觀察と相俟つて日々軟化し萬國向爲替相場は遂に三志五片を割るに至り安氣配を以て週過したり

●本週中銀塊及爲替相場

月日	銀塊相場	倫敦向電信	日本向電信
六月十日	休日		
〃十一日	35 7/16	3/3	78
〃十三日	35 3/4	〃	76
〃十四日	〃	3/4	76 1/4
〃十五日	35 5/8	3/3	76 1/2
〃十六日	35	〃	76

●外國銀行在銀現在高

六月十五日(木)　三〇、三四〇、〇〇〇兩　三七、六〇〇、〇〇〇弗

六月十八日(木)　三〇、三四〇、〇〇〇兩　三七、〇四〇、〇〇〇弗

	銅銀	墨銀
六月十八日(木)	三七、六〇〇、〇〇〇弗	三七、〇四〇、〇〇〇弗

●上海取引所（六月十八日土曜日前場大引）

株式之部	現物	六月	七月	八月
甲號五分利公債	六三五・〇〇	—	—	—
日本信託銀行	一六〇・〇〇	一六〇・〇〇	一六〇・〇〇	—
上海ドック株	一四四・〇〇	一四四・〇〇	一四四・〇〇	—
日華紡織株	五〇・〇〇	五一・〇〇	五一・〇〇	—
上海紡織株	一五九・〇〇	一六〇・〇〇	一六〇・〇〇	—
上海紡織株	二四〇・〇〇	二四〇・〇〇	二五〇・〇〇	—
恰和紡織株	二四〇・〇〇	二四〇・〇〇	二五〇・〇〇	—
東方紡織株	一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一八〇・〇〇	—
大阪株式取引所	—	—	—	—
上海取引所	—	五三・〇〇	五四・〇〇	五四・〇〇

綿糸之部	現物	六月	七月	八月	九月	十月	十一月
水月十六二十手組合セ							
六三〇・〇〇	六三〇・〇〇	六五〇・〇〇	六五〇・〇〇	六五〇・〇〇	六五〇・〇〇	六五〇・〇〇	六五〇・〇〇
中國綿糸十六手							
一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇	一四四〇・〇〇

▼岩崎男一行

▼淵田大郎氏

▼下田警部補

公人私人

十五日山城丸にて歸國

十五日鳳陽丸にて來滬

十七日厦門へ轉勤

編輯餘錄

▼安福系の再擧を圖ることは、固より復仇から來るが、復仇するに就き、自治を云ふに至りては人を奚せるも甚だし、支那の所謂自治が謀反の自治位の事は第一支那人がチャンと見拔いて居る、餘錄子の如きも亦ソーじや、英米人も亦知つて居る、彼等が時々自治を着目するのは、日本と因緣ありと思はるゝ當局軍人を攻擊する爲めに和するのみ

▼北京の通信によると歐米同學會が、再び排日を計畫し、米人を後盾として大々的にやるソーであるが、排日風には日本人も早や免疫して居るから、ソンナことにはビクともせない、日本人も第一革命以來支那人から騙られたから、今度は米人の騙らる、番だから、米人大に支那人にだまされるが好かろう、建國以來の思想を高調せねばならぬ正義人道呼を云ふて、日本を排して自已の勢力を得んとするも、南無阿彌陀佛を唱へつゝ竊盜やると同じく、米人を騙るものは拜み倒すほど米を拜むだろうけれども、一般ソーはせない、今に回復が來る

▼支那の軍閥は何時槍玉に擧げらるゝか、民黨も槍玉に擧げらるゝ格になつた、民黨は口では軍閥々々と云つて居るけれども、其實軍閥を恃みて以て活路を求めて居ることは今に始まらぬ、舊政學會が統一派となつて、中央政府にクツついて居るのも、安福系が孫文派とクツついて居るのも、皆同一の臭聞である、コー民黨なるものが驟度せる外、研究系や舊交通系は歐米同學會など之に入て、排日を鞭て攪亂策をやる、前二者は國內の軍閥を恃み、後者は國際的を恃む、內外合せて國をして國たらしめざらんとて許容すべからざるは、實に今の政客で此政客を除去する方法は、並み大抵でない、彼等自滅の期を待つ外はあるまい、破產して尙ほも活きて居るのは、矢張り國際的勢力の御蔭である、今の政客は排日として活きて居ゝ樣なものであるから、一面政客は日人を愚人とせねばならぬ譯である

▼當地の新聞報は固より米人の機關紙である毎日本の惡口を云ふことに努めて居るが其惡口振りは何んと云つても、米國の爲めの排日、排日の爲めの排日で、心あるものは皆アザ笑つて居る、中華子に至りては何を論ずるにも安福系を攻擊し、時に日本を排するけれども其中に統一を云ふ所に北方派たることを表して居る梅雨は宿病を發するが、文中亦各報の色彩が看取される

肥料、雜穀、羊毛、羊皮、豚毛、牛骨油脂、イタヤー類、護謨製品、毛糸晒粉、酸類、セロルード板琺瑯製品、縫縫、電氣器具其他

EKC

兒玉貿易商行

上海英租界泗涇路八號

電話中一八〇三番

支店　東京日本橋區通鹽町參番地

同　鹿兒島市洲崎町參番地

同　漢口英租界楊子街廿一號

代理店　內外護謨合資會社楊子江一帶

一手販賣店　南海晒粉株式會社（福印）

EI-KWA & CO.

EK

瀛華洋行

上海江西路十八號

電話中央一三〇九

取扱商品　雜穀肥料製油原料其他一般輸出業

出張所　神戶、漢口、蕪湖、沙市、宜昌

營業種目

棉花、綿糸布、絹紡原料、雜穀、肥料、油臘、毛皮革、其他支那天產物等

小津武林起業株式會社

上海支店

武林洋行

上海漢口路九號

電話中央（一三五七）（四二四六）

OZU-BURIN & Co.

本店　大阪

支店及出張所

東京、橫濱、神戶、漢口、沙市、宜昌、萬縣、重慶、大連、奚城、老河口、鄭州

營業品目　砂糖、雜穀、肥料、綿花、棉糸布、支那繭、麥粉、其他

安部洋行

上海福州路三號

增田屋　安部幸兵衛上海支店

電話（住宅）四〇九七　中一〇六五　中一〇八〇　中一四〇一　中一七六三（事務所）

本店　東京市南伊邇三丁目

支店　名古屋、大阪、下神戶、長崎、紐育、那覇、蘇南、嘉義、打狗、尼刺、天津、漢口、印谷阪

出張所　橫濱、紐約、尼刺

社會株式績紡華東

號九九A路口漢海上　所務事
號八路德華海上　工場
番四五三東話電

營業科目

海運業
船舶代理
并賣買仲立
一般輸出入

上海江西路五號
合資會社 申亨洋行
電話四三〇〇九

社會式株織紡華日

號五五路川四海上＝所務事
九五二四中　話電
九四二中
浦東　場工
八九一中　話電
五七五中
場工築建路生物勞
七六九一四話電

歐亞聯絡最捷交通線

◎急行列車ハ最新式ノ一、二等寢臺車及食堂車ヲ聯結致居候

下リ
○大連長春間急行
日、水曜日
木曜日

長春着　月、木、金曜日
○滿鮮直通（長春—釜山間）
釜山發　土、火、水曜日
安東發　日、水、木曜日
長春着　月、木、金曜日

上リ
○長春大連間急行列車
長春發　月、木、金曜日
大連着　火、金、土曜日
○滿鮮直通（釜山—長春間）
長春發　月、木、金曜日
奉天發　火、金、土曜日
釜山着　水、土、日曜日

注意（◎印ヲ付シタル日ノミ運轉ス）歐洲時間局ノ爲メ當分ノ內

午後三時二十分　莫斯科行
午後三時二十分　聖彼得堡行
急行列車
午後七時十分
午後九時五十分
午後四時四十分
午後七時十分

午後五時四十五分
午前九時
急行列車
午後五時四十五分
午前一時二十五分
午前六時十分

◎大連發急行列車ハ上海着ノ各航路汽船ニ接續致候

歐亞間大連ヨリ程倫敦

哈爾賓	莫斯科	二十四時間
聖彼得堡	伯林	十一日間
巴黎	巴黎	十日間
倫敦	倫敦	十二日半

鐵道旅館　ヤママトホテル
大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全　食物精選大連市外星ケ浦ニハ海岸ほてるアリ
電報略號（YAMATO）

大連上海航路
三八七六噸
二八七七噸
使用船舶　神戸丸
兩船共船內無線電信局アリ
大連發火、金曜日正午
木、月曜日午前
上海發火、金曜日午前
木、月曜日午前
上海大連共　機關繫留
神戸丸十四海里航海時間四十一時間
（金曜日大連發ノ分）
土曜日青島寄港
（金曜日上海發ノ分）
日曜日青島寄港
上海着
大連着
速力　神戸丸十四海里航海時間三十一時間
電報略號（AMINSEN）

撫順炭
滿洲內地ノ諸都市　大連、營口、旅順、安東、京城、天津、龍口、芝罘、青島、上海、香港、廣東、新嘉坡、馬尼剌、南洋諸島、打狗、浦鹽、其地東洋諸港到ル處ニ販賣ス

南滿洲鐵道株式會社

○本社大連市公園町　○支社東京市麹町區有樂町
振替貯金大連（二一九番）　電報署號（MANTETSU）マンテツ

營業科目
化學用玻璃器、醫藥用瓶其他、玻璃料器一切製造販賣其他一般輸出入業

上海廣東路三十六號
北福洋行
電話三八九二番

文路寺號
山口商店
電話北四五九

營業科目
浙江產螢石採掘販賣
一般輸出入業
上海四川路A百二十八號
「シャツ」製造販賣
辛酉公司
電話中三二三二
工場（上海戈登路千三百十五號）
（電話四一八二七）

●和洋家具類
●室內裝飾品類
●書畫骨董類
●諸物貨賣買仲次
●電機器具及工事
右十數年の經驗自信に依り大方の貴需に應ず
上海閔行路廿一及廿二號
上海便利社

本紙掲載廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は編輯部又は（電話北二八五七）にて御一報被下度候

廣告料
一部　金十五錢（郵稅共）
一ヶ月（四部）金六十錢（郵稅共）
半年（廿六部）三弗三十錢（郵稅共）
一年（五十部）金六圓（郵稅共）
金二十錢
金八十錢
金四弗五十錢
金八圓
本日

本紙定價（前金）

編輯兼發行人　上海嵐山路八號　西本省三　電話北二八五七
印刷人　上海嵐山路一、二號　蘆澤多美次　電話北一三〇三
發行所　上海嵐山路八號　春申社　電話北二八五七
振替口座福岡四七〇五番

●敷島（四百本二十本）　貳弗拾三仙
●朝日（四百本二十本）　拾壹弗八拾五仙
●白梅（四〇匁入）　八拾四仙
●サシキ（四〇匁入）　六拾五仙
●アヤメ（四〇匁入）　五拾六仙
●ライトハウス（五百本二十本）　壹弗七拾三仙　銀貨拾仙

國產奬勵
東亞煙公司　電話北一〇五二番
特約店
松尾洋行　電話北三〇五三番
山口商店　電話北四五九番